

活性化モデル商店街の概要

商店街名：稲武商工会

●キャッチフレーズ

買い物・生活・コミュニティに対応できるまち稲武

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

稲武地区の人口減少（5年で11.1%減少）、高齢化（高齢化率40.2%）が進行している。

【課題】

- ・ 店主の高齢化や後継者不足が進み、組合員数の減少が懸念される。
- ・ 時代にあう、あるいは魅力ある品揃えが困難となり商店の魅力が薄れ、客離れが進むことが懸念される。

【対策】

①生活者の利便性向上やコミュニティづくりに寄与する商店街

高齢者対策や地域行事、ボランティア活動に積極的に取り組む。

②地域に密着し、信頼される商店街

定期的に顧客と顔を合わせる仕組みをつくることで、既存顧客の離反を防止する。さらに住民の集まる場所にPRしに行くことで、新規顧客の開拓に繋げる。

③中山間商店街の活性化

中山間の商店街であり、買い物支援システムにより、農山村地域の再生・活性化に繋げる。

◎具体的に取組む事業内容

○いなぶのお買い物配達便（28年度～32年度）

過疎化・高齢化が高まる中、商店街の生き残りをかけ、宅配事業を中心に、高齢者の買い物支援システムを推進する。

「いなぶのお買い物配達便」

配達日：月曜～金曜（祝日除く）

注文方法：商工会または宅配商品取り扱い店舗へ電話注文

支払い：配達時に配達業者へ現金で支払い